

＜自己紹介・取組紹介①＞

「横浜市資源循環推進プラットフォーム」

横浜市 資源循環局 事業系廃棄物対策課

減量推進係長 権田 優

株式会社 グーン 経営企画本部

シニアマネージャー 北井 俊樹

横浜市資源循環推進 プラットフォーム



YRCプラットフォームの概要



横浜市内における**動静脈連携の促進**を目指し、
市内の廃棄物処理業者7社と横浜市が連携した「**公民連携**」の枠組

略称「YRCプラットフォーム」
(Yokohama City Platform for Resource Circulation)

【幹事】

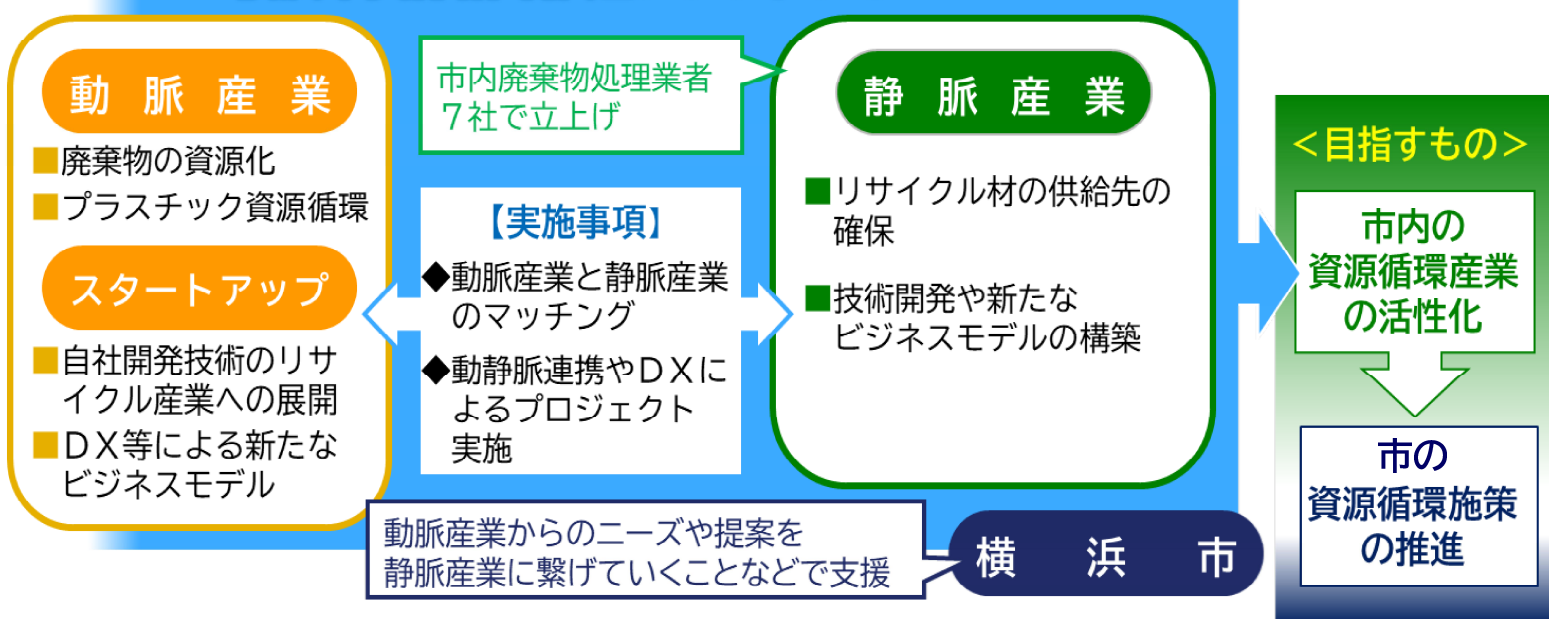
- ・株式会社グーン(事務局)
- ・株式会社春秋商事
- ・J&T環境株式会社
- ・横浜環境保全株式会社
- ・武松商事株式会社
- ・株式会社ケイ環境企画
- ・ecomate 有限会社
- ・横浜市

【発足日】 令和6年10月



YRCプラットフォームの概要

横浜市資源循環推進プラットフォーム

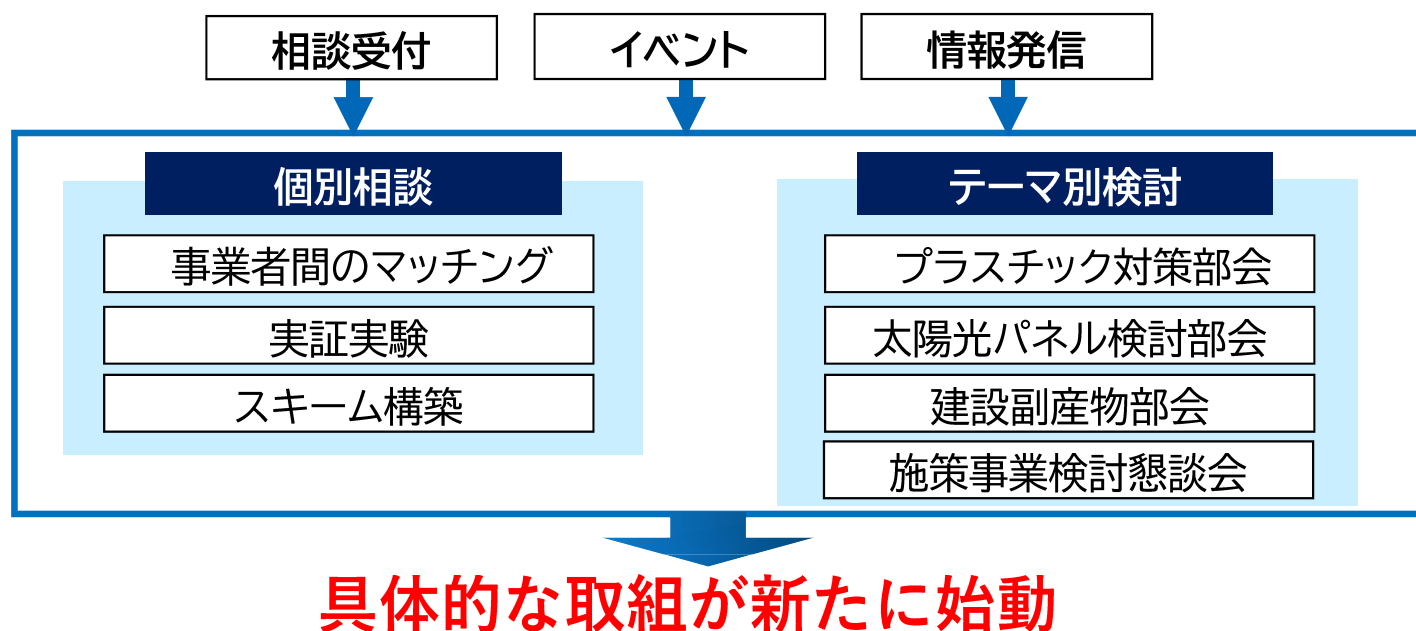


3

YRCプラットフォームの概要

課題解決に向けた検討スキーム

実際の課題や静脈産業側の実態等を踏まえ、具体的な議論を実施

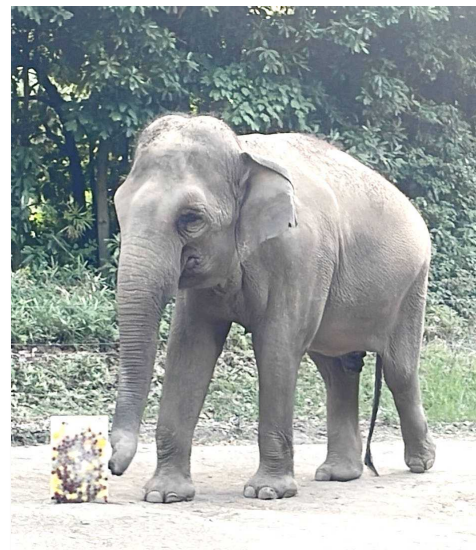


4

ホテルの“もったいない”食品を動物たちのおやつに

令和7年8月に開催された、よこはま夜の動物園「ナイトズーラシア」にて、ホテルの未利用食品を動物のおやつとして活用し、食品ロス削減と地域資源の循環利用に資する取組を横浜の動物園で初めて実施

「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」様からのご相談・ご提案をYRCプラットフォームで実現に向けた検討を行いました。



ホテルから提供された果物を使ったおやつを楽しむインドゾウ(よこはま動物園ズーラシア)

- ① 未利用食品の活用
- ② 動物園を訪れる多様な世代に向けた啓発

廃棄物収集運搬の効率化に向けた実証実験の実施

一般廃棄物収集運搬車両を産業廃棄物の収集運搬にも兼用することで、収集運搬の効率化およびCO₂排出量削減の効果を検証します。

実施期間: 令和7年11月24日(月・祝日)～令和8年3月31日(火)

YRCプラットフォームの施策事業検討懇談会で意見交換を重ね、幹事企業3社(株)春秋商事、武松商事(株)、横浜環境保全(株)が実施

収集運搬効率化による

- ① CO₂排出量の削減
- ② ドライバー不足の緩和 を検証



新規事業の
ビジネスパートナーを
探している

ブースにも
是非お立ち寄り
ください！

ご提案・ご相談 大募集！

【HPはこちら】



再製品化の
原材料を集めたい

横浜市で
実証実験を
行いたい

＜自己紹介・取組紹介②＞

「令和 7 年度地域の資源循環促進支援事業 ～那須塩原市～」

那須塩原市 環境戦略部 サークュラーエコノミー課

課長 小野 治夫

令和7年度地域の資源循環促進支援事業 ～那須塩原市～

2026年1月29日
那須塩原市環境戦略部
サーキュラーエコノミー課

1

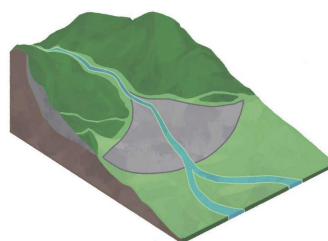
那須塩原市の概要

那須塩原市



【歴史】

もとは人の住めない不毛の原野、約 140年前から開拓が本格化
水を得るために国家事業として **那須疏水** を建設

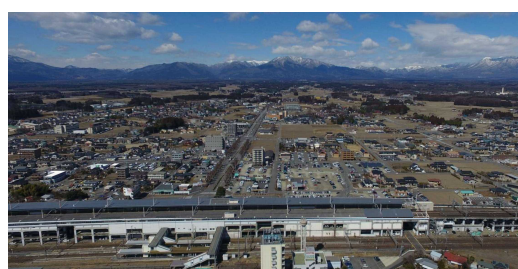


【地勢】

東京から北に150km 新幹線で70分
市の北西部は山岳部、南東部は緩やかな
傾斜の平地が広がる**扇状地**

【人口】 約114,000人

【面積】 592.74 km²



2

市の産業構成

バランスのよい産業構造のまち

農業／酪農



農業産出額 全国10位



生乳産出額 全国2位

観光



歴史ある2つの温泉地
(塩原・板室)



商業



食料品店、飲食点、自動車販売店などに加え、アウトレットモールや、映画館を併設したショッピングモールなど

工業など



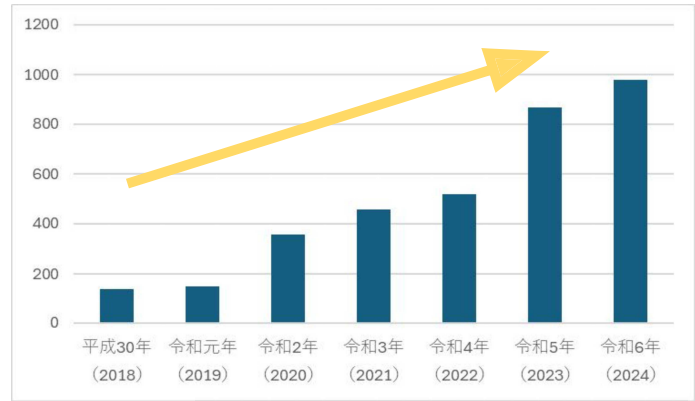
市内8カ所の工業団地・産業団地に加え、タイヤ、飲料品、乳製品など大手企業の生産拠点

近年増える移住者

移住者の増加

リモートワークの普及などにより、平成30年度以降、移住相談件数が増加傾向にあり、実際に、移住者も増加傾向にある。

那須塩原市の移住相談件数の推移
(件)



■移住促進センター調べ

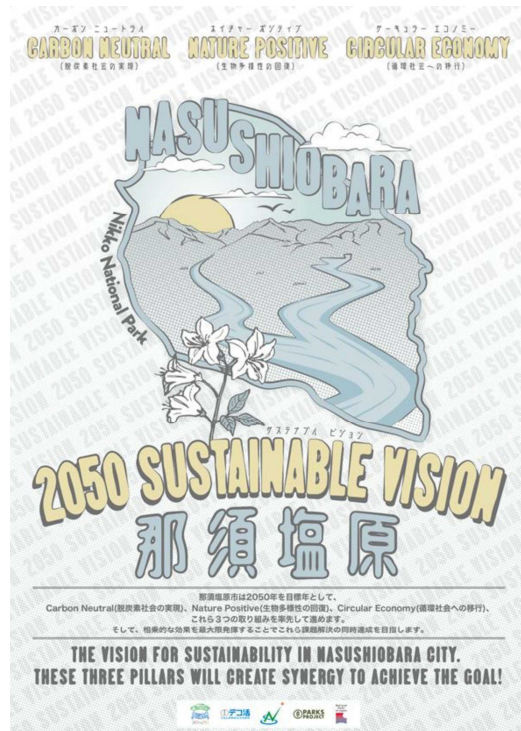


2050 Sustainable Vision 那須塩原

那須塩原市では、環境部門において更なる連携を図り、これらの相乗効果による同時実現を目指すため、「ネイチャーポジティブ」、「カーボンニュートラル」及び「サーキュラーエコノミー」の3つを柱として環境施策を推進していくことについて、2050年における本市のあるべき姿とその取組を、

2050 Sustainable Vision 那須塩原 ～環境戦略実行宣言～

として、令和5年9月に公表した。



5

サステナブル ビジョン 2050 Sustainable Vision 那須塩原 ～ 環境戦略実行宣言 ～

**R6年度
環境戦略部を創設
3課体制**

ネイチャー ポジティブ Nature Positive

- ◆ 国立公園の保護と利活用の好循環を創出
- ◆ 重要里地里山の価値を再認識
- ◆ 野生生物との共生社会を実現

市民生活部環境課
→ネイチャーポジティブ課

3施策の融合による持続可能な環境都市「那須塩原」の実現

カーボン ニュートラル Carbon Neutral

- ◆ 再生可能エネルギーの最大限導入
- ◆ デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らし）
- ◆ 温室効果ガス吸収源保全

気候変動対策局気候変動対策課
→カーボンニュートラル課

サーキュラー エコノミー Circular Economy

- ◆ 廃棄物の資源化の推進
- ◆ 製品等の長期利用・有効利用
- ◆ 官民連携によるリニューアブルの推進

市民生活部廃棄物対策課
→サーキュラーエコノミー課

6

以下の2つの事業について採択された

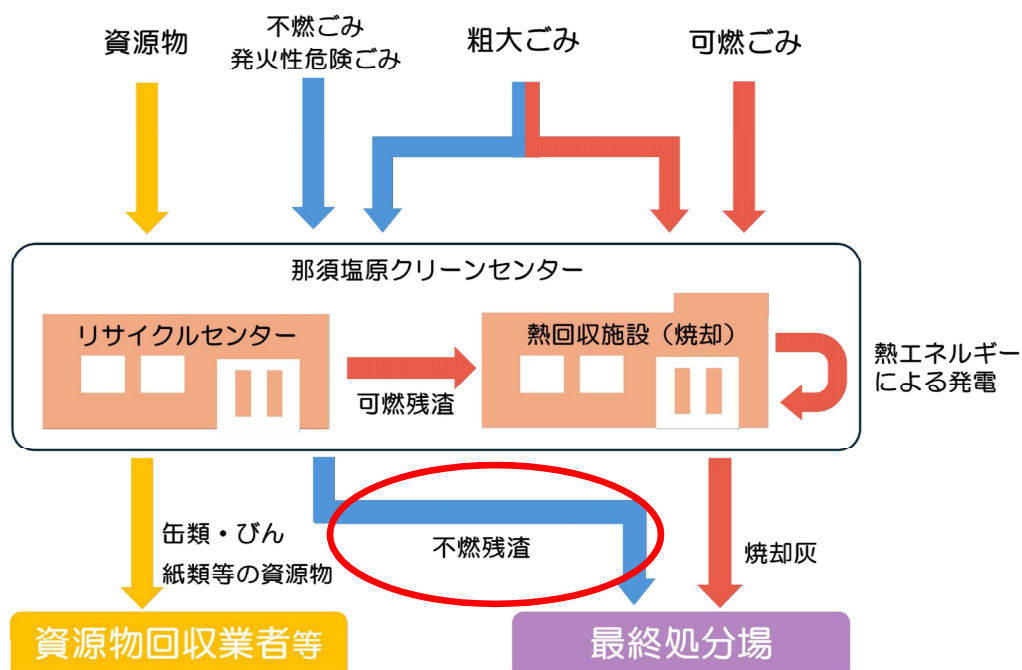
- ・ **循環型ビジネスモデル実証事業**
クリーンセンターにおける**不燃残渣のリサイクル**推進
- ・ **自治体CE診断・ビジョン作成**
本市の特徴を活かしたCEの方針、**ビジョン**を策定

7

那須塩原市の廃棄物処理状況

不燃ごみ及び不燃系粗大ごみについては、破碎処理を行い、鉄やアルミ等を抽出して再資源化している。
処理後の不燃残渣については埋め立て処分を行っているが、**再資源化が可能な金属類が残ったまま埋め立てしている現状**である。

設備的な限界



8

不燃ごみにおける金属類の高度リサイクル事業

リバー株式会社の技術、販売ルートを活用して、残渣から希少金属類等の再資源化、市場への再流通を実施する。



9

詳細フロー①

○那須塩原クリーンセンター

鉄、アルミ等

- ・不燃ごみ及び不燃系粗大ごみを破碎処理、その後資源物を抽出



- ・資源物を抽出した後の残渣から、再資源化ができないものを可能な限り取り除く



- ・搬出用コンテナに仮置きし、リバー株式会社に有価物として売却する

10

クリーンセンターでの処理状況



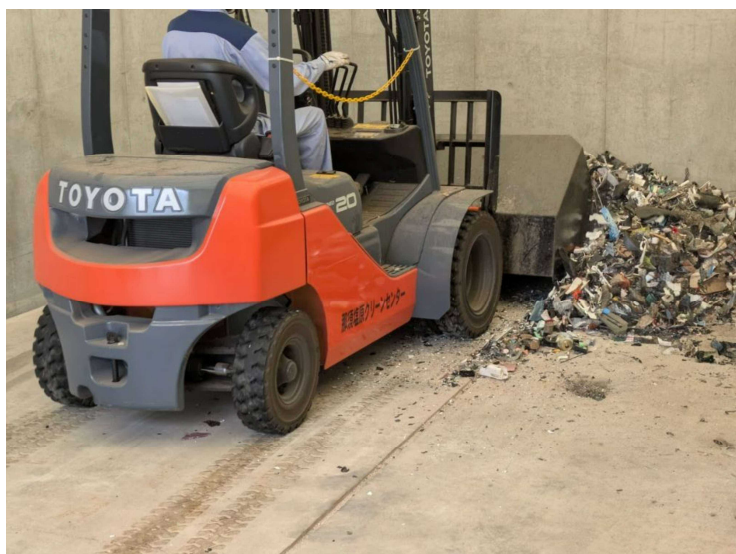
資源抽出後の残渣
茶色い砂状のものが再資源化ができないもの



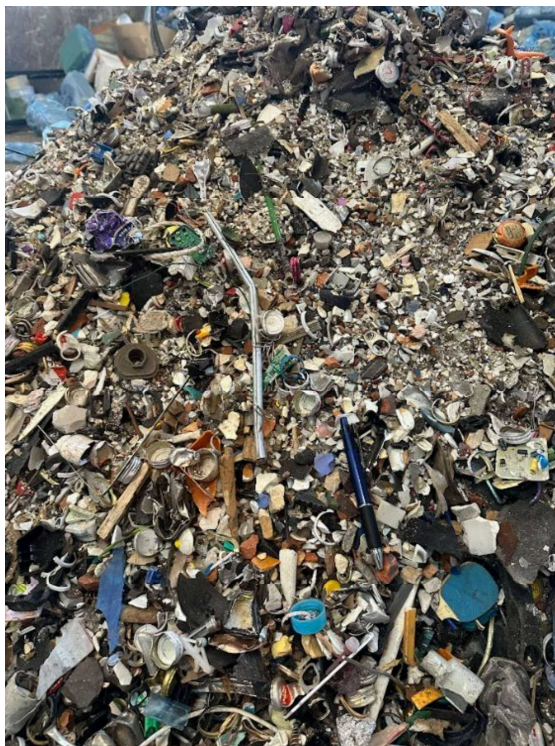
本来は
このまま
埋立処理

11

ローダーを使用し、
ふるいにかけるようにして、
再資源化ができないものを取り除く



搬出する破碎残渣



砂状のものを可能な限り減らす

12

詳細フロー②

○リバー株式会社 那須事業所

・搬出用コンテナで残渣を搬出する



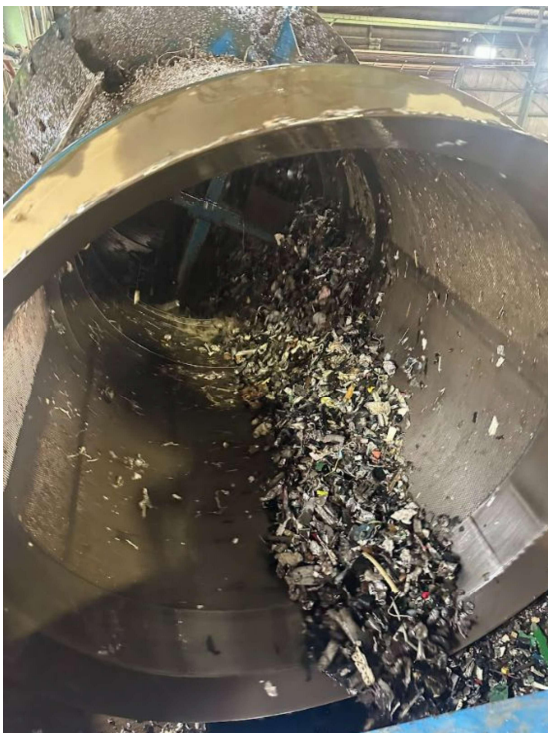
・高度な設備や技術を用い、磁力や比重、人力等での選別処理を実施し、再資源物を抽出する



・抽出した再資源物の市場へ売却し、再流通を図る

東日本で最大規模の
設備を保有している

リバーでの処理状況



抽出した再資源物



＜自己紹介・取組紹介③＞

「資源循環を地方創生のエンジンに—PPP のはじめ方—」

一般財団法人地方自治体公民連携研究財団（PPP 財団）

本部 代表理事

千葉商科大学 総合政策学部 准教授 藏田 幸三

資源循環を 地方創生のエンジンに — PPPのはじめ方 —

PPP財団 千葉商科大学 藏田 幸三

アジェンダ

- なぜ“始める”のが難しいのか
- PPPは「施設整備」ではなく「関係づくり」
- 資源循環は「地域の産業政策」
- 最初の一步は「対話」から

なぜ“始める”のが難しいのか 自治体現場でよく聞く声

- やりたいが、担当課だけでは動かない
- 民間にどう声をかけてよいかわからない
- 補助金事業で終わってしまう

[議題のページに戻る](#)

- PPP＝契約手法ではない
- 公共目的 × 民間の事業性をつなぐ“ツール”
- 資源循環はPPPと相性が良い分野

PPPの本質

[議題のページに戻る](#)

地域の 産業政策

地域の雇用を生む＝インフラ

地元企業が主役になれる

地域内経済循環を生む

[議題のページに戻る](#)

最初の一步

- 担当者同士が話す場をつくる
- 小さく試す
- うまくいったら広げる

[議題のページに戻る](#)



